

- 1年次：データやツールを使いながら各トラックの基本概念を言葉で理解し、図等を使って説明できる。基本的素養としてのプログラミングができる。
- 2年次：データやツールを使って修得した概念を実行し、現場に活かせる方法を考案できる。
- 3年次：修得した概念や専門における理論的背景を理解し、地域プロジェクトのなかに位置づけ、いくつかのモデルを現場で検証できる。
- 4年次：修得した概念を使って、問題解決に取り組むことで地域社会に貢献するプロジェクトを実施できる。